

会議名 議会改革特別委員会

開閉日時 平成24年6月8日（金） 午後1時25分～午後2時47分

会場 委員会室

1. 出席者

1番 磯田義弘、 2番 黒川美克、 6番 幸前信雄、
7番 杉浦敏和、 10番 鈴木勝彦、 11番 鷺見宗重、
13番 磯貝正隆、 15番 小嶋克文
オブザーバー 議長、副議長

2. 欠席者

なし

3. 傍聴者

柳沢英希、浅岡保夫、柴田耕一、内藤とし子、内藤皓嗣、小野田由紀子

4. 説明のため出席した者

なし

5. 職務のため出席した者

議会事務局長、書記2名

6. 付議事項

- 1 特別委員会第14回の検討結果について
- 2 議会報告会開催報告の議会だより等での公表について
- 3 今後の議会報告会について
- 4 その他

7. 会議経過

委員長挨拶

委員長 次に、本委員会記録の署名委員の指名についてであります。本件については、委員長から御指名申し上げて御異議ございませんか。

異 議 な し

委員長 御異議なしと認め、副委員長の磯貝正隆委員を指名いたします。

議 題

1 特別委員会第14回の検討結果について

委員長 過日、「議会改革特別委員会〔第14回〕検討結果について」を配布させていただき、お目通しをいただいていると存じますが、何か御意見等がございましたら、お願いいたします。

意 見 な し

2 議会報告会開催報告の議会だより等での公表について

委員長 第14回の検討結果では、報告会で聴取した意見、質疑等、アンケート記載の意見、アンケート集計結果、未回答の意見等は市議会として対処するとともに議会だより、市ホームページ等活用し、公表、回答するというふうになっています。公表、回答は、議会改革特別委員会において、意見、質疑等の案件ごとにどのような機関、場面で協議、検討するかを検討するとされています。今回、公表、回答については、議会だよりにつきましては、午前中に開催されました編集委員会で、2ページと3段のスペースが設けられています。今回は、その議会だよりのほうをメインに進めさせていただきたいと思うんです

けども、アンケートの集約結果をお配りするのがなったのですけれども、まとめさせていただいたところ、意見等で特に今回議会報告会の内容について回答するような必要があるのかなと思うようなところは特に私自身は感じなかったのですけども、こちらのほうは、また改めてでもよろしいですから、ご回答いただければというふうに思います。それと、先ほど申しました、議会だよりの原稿の内容作成者の決定をこの場で、できればやらせていただきたいと言うのか、来月号の議会だより「ぴいぷる」に載せるためには、6月28日までに原稿の締め切りになります。ここでアンケートの一番最後のところを見ていただきたいんですけども、14分の9ページと書いてあるところから、半田市議会さんのホームページの掲載内容になりますけども、こういう形で、議会報告会の結果の公表をされております。当日の実施日、実施場所、議題ということで、その場で話し合われた内容、そのあと、アンケートの集約結果ということと、最後に、14分の12ページに、当日の来場者の方からいただいた意見ということで掲載されています。今回については、こういう内容でいいのかなというふうには感じているんですけども、アンケートの内容の羅列形式でよろしいのかなというふうに感じています。それと、アンケートの内容について、若干気になったのが、個人名で何か出ているような、こういうところは外していただいたほうがいいのか、集約のときに気をつけるのは、あくまで、議会として対応した内容になりますんで、そういう形での表現のほうが望ましいのかなというふうに考えております。

意（10） 午前中に、編集委員会で御検討されたということですので、その内容と、このホームページに載せる内容とは、イコールということでしょうか。

委員長 基本的にそういうふうに考えさせていただきたいんですけども、午前中に行われた会議の中では、議会報告会の記事を載せるスペース、これの領域をどれくらいということを決めていただいたという認識でいるんですけども。編集委員長、それでよろしいですか。

副議長（編集委員長） 今、委員長が言われるように、あくまでも枠としてどれだけ今回の報告会についてとれるかという、その打ち合わせだけですので、

内容的には、今日の議会改革特別委員会のほうで、それとは別のということであれば、また、こちらのほうへ出していただいでですね、あくまでも、枠としてその範囲内で収めていただければという話になっています。

委員長 それとですね、1、2、議会としても答えないといけないかなというように内容に触れているのが、よく町内会さんとか問題視されている、まちづくり協議会、町内会、公民館、この辺の関係について、どう思っているんだということを、2件ほど意見があったかと思います。こういうことの回答をこの場ですぐ決めることはできませんし、議会としてどうという話もないものですから、後日、当局の考えだとか、その辺をただして、逆に別途掲載するという形でもよろしいのかなというふうに思うものですから、とりあえず、今回いただいた意見は、掲示させていただいて、その中で、議会として回答しなければ、まずいなという部分については、別途それだけ外させていただいて、後日検討のあと答えるような内容でもいいのかなというふうに考えております。どうですか、皆さん。

意 見 な し

委員長 何か、御意見ございましたら

意（10） 「ぴいぷる」の枠どりはどれくらい、もう一度ちょっと、お願いします。

委員長 2ページと3段、いただいています。

意（11） そういうことだと、発言された方が、どう思われるかという問題もあるのではないですか。議会としてはっきりしていないということだから、載せないというのも、何だかなというふうに思うんで。

委員長 ですから、どうしたいということですか。

意（11） ですから、検討中ですぐらいのことで、載せたらいかがですか。

委員長 ですから、そういう形で表記させてもらえればどうですかということと言ったんですけども。逆にですね、これ、お一人の御意見をいただいているものですから、検討するのか、当局からの回答だけでやってしまうのか、その

辺は、ここで決めればよいとは思うんですけども。

意（15） 確認ですけども、今、一応、議会だよりに載せるのは、14ページ、15、ごめんなさい、9、11、12までですか、載せる予定は。

委員長 というか、載せる内容が、基本的に半田市さんの議会報告、この内容がわかりやすかったのかなというふうで、取り出したんですけども、別に、この形式にこだわるつもりはありませんけども。

意（15） 今、そこら辺のことを考えているということですね。

委員長 はい。

意（15） もう1点。もし、これ、今、9から11を載せますと、スペース的にはどうですか。

副議長 あくまでも、枠としてあるわけですので、文字数が多くなったりとかなれば、当然、もともとの話が出ていました、文字を大きくとか、何かいろいろありましたものですから、それに合わせたサイズのものしか載せれないと思いますし、議会だよりは、今までは縦書きになってたんですけども、今回、この部分の報告会については横書きとか何かそれはされても、こちらは編集のほうでは対応させていただきます。

委員長 今、お渡ししているのは、あくまで、生の書いた文言そのまま掲示してあります。ですから、これは、逆に、意見ですとかそういう部分、どういう形で表現するのは別にして、うまく編集していただけないかなというふうには考えています。

副議長 これは、あくまで、今、原稿を渡された場合で、編集委員会のほうで。

委員長 いや、このあと、こういう形でよければ、担当を決めてつくっていただいて、この場でどういう形になるかわからないですけども、委員長、副委員長で、最終的に原稿の形にまとめさせていただきたいなというふうに思っています。

副議長 そういうことですね。

委員長 だから、この枠に収まるように、最終的には特別委員会のほうで出さなければというふうに考えております。

副議長 はい、わかりました。

意（１） 先ほど、「ぴいぷる」に載せる内容とホームページの内容が同じというふうな質問に対して、同じというふうなお答えがあったような気がしたんですが、なかったですか。

委員長 ホームページの話は、まださせていただいてないですけど。

意（１） それで、意見として、「ぴいぷる」は紙面上の情報量が限られますので、ホームページのほうは画像も、ほかのものもある程度の制限がないような気がしますので、情報量に関しては、「ぴいぷる」で大事なところを載せて、ホームページには、画像等でわかりやすいような形でもっていったほうがいいんじゃないかと思います。

委員長 ちょっと、まだ、ホームページの話はこのあとにしたいので、掲示する、どうのこうのというところは正式に決まっているという認識がまだなかったものですから。「ぴいぷる」のほうはそういう形で進めさせていただいて、よろしいですか。

異 議 な し

委員長 ちょっとですね、分担いただいて編集いただきたいものですから、データは、あとで、議会事務局のほうに、私、これエクセルで全部つくったものですから、参考でグラフ表示するために、14分の14ページのところに、これ単純なグラフにしました。これは、エクセルのグラフ機能を使っているだけですから、簡単にできるんですけども、そういうこと、さわったことのない人、これやれと言われたときに苦勞しますので、逆に言うと、こういうことができない人が、意見のところの集約、1枚目の表題のまとめの部分、議事の内容、あの議会報告会当日、どういう内容のことをやったんだということをもとめていただく担当になっていただきたいなというふうに思っているんですけども。

委員間で、担当部分の調整

調整結果・アンケート集約結果に関するグラフ化：磯田義弘委員

- ・ 議会報告会の内容に関する部分：黒川美克委員
- ・ アンケート内記述に関する編集
 - 「議会報告会の内容」から「議会傍聴」まで：杉浦敏和委員
 - 「議会だより」：鈴木勝彦委員
 - 「ホームページ」から「議会報告会」まで：磯貝正隆委員
 - 「その他の意見」：鷺見宗重委員・小嶋克文委員

委員長 では、申し訳ないですけれども、「ぴいふる」の最終の編集がありますので、その前に一度全体を構成しないと、できないものですから、20日ぐらいまで目処に、お願いできないかなと思っているんですけれども。

委員間で、原稿文字数の割り当てに関する調整

調整結果・委員それぞれの担当部分の原稿文を自由に作成し、それについては、高浜市公式ホームページへ公開し、「ぴいふる」の原稿については、レイアウトに収まるように原稿を調整する。

委員長 この後、質疑だとかその辺の対応ということで、今回、御意見の中で、回答を出していかなければならないものも入っています。それについては、別途回答していくということで、テーマを決めて、この委員会で解決するものは、この委員会でいいんですけれども、「ぴいふる」の編集ですとか、そういうところは、またお願いするようなことがありますので、それは次回のところで、もんでいただきたいなというふうに思っています。よろしいですか。

「はい」と、発言するものあり

委員長 それでは、そういう形で、期限も切らせていただきましたし、そのように進めさせていただきたいと思います。

3 今後の議会報告会について

委員長 この件について、素直に、議会報告会についての議員から見た感想と
いうか、そういうものをこの場で聞かせていただければなと思うんですけれど
も。

意（1） まず最初にしたことが、日どりに関して、いろんな行事があった
ときに重なったものですから、ちょっと不利な面があったのかなというふうな
ことは、一つ感じました。それと二つ目に、やはり、言葉が難しいということ
と、文章の羅列的な印象を感じられている市民の方が多いということを感じま
したので、やはり、ビジュアル、絵的に伝わるような表現をもう少し多く使っ
たほうがいいのではないかなと、例えば、写真あるいは、何かの事業であるな
らば、動画というふうなことで、入り込みやすい工夫をもう少ししたほうがよ
かったのではないかと、とりあえず思いました。

意（2） 私も、今、磯田さんが言われたみたいに、せっかく来ていただい
ている方、僕も話を聞いたんですが、やはり言葉が専門用語だと、なかなかわか
りにくいだとかいうようなことを言ってみえた人がおみえになりました。それ
で、今、言われたみたいに、やはり映像で、絵で見せたほうがわかりやすいと
いうことがありますので、僕は、プロジェクターを使ってやったことは正解だ
と思っています。それで、ぜひ、今後もそういうような形でやっていただくと
いいと思いますけれども、感じたのはそのぐらいですね。

意（8） 私は、報告会ですので、やれたということが一番よかったのかなと。
アンケートだとか、統一の質問だとか、ということが、いいとか悪いとか、そ
れは個々のあれだと思えますけれども、それなりによかったのかなと。ですか
ら、あとは毎回やるのであれば、もっと簡素化させたほうがいいと思うし、あ
まり、時間かけてやっても、やっただけの内容にならないような気がするので、
素直に報告会というふうな内容でいいのかなと、そう思います。

意（10） 私的には、立場上、皆様方が半年以上かけて、やっていただけた
ということに感謝をするしかないわけですがけれども、私自身は、やれたという
自己満足、私個人ですね、それで一杯でありますけれども。これを、いかに市
民の人たちに満足していただけるような報告会を、これから推し進めていくの

は、どういう方法がいいのかということはこれからの検討だと思いますけれども、回数だとか場所というのは、今から御検討されるだろうと思いますけれども、私の予想していたとおりの市民の皆さん方の参加でありましたし、御意見も、多分、ああいった御意見がたくさんくるであろうなという、予想していた、そのままの報告会であったと思いますので、それを今から皆さん方、調整しながら市民の皆さん方にもっと向けた報告会ができればいいのかな。だけど、私は大満足をしておりますので、このままでいいという思いではありませんけれども、少しずつ進めていけば、もっと身近に感じていただけるような報告会ができるのではないかなと思っていますので、私自身は大満足しています。

意（13） 私もですね、1回目ができたということが、ある意味で半田も見学に行き、知立も見学に行き、その中で他の市町の議員さんともお友達になりましたし、皆さんも大変だねというような話でありますけれども、いずれにしても、できたということが一つはよかったかなというふうに思います。ただ、今、お話にあったかどうかよくわかりませんが、高浜が高浜市で今後、何回、あるいは場所的な、時間的な問題も含めてですね、どうしていくかということは今からの話だと思っていますので、これは、ここの委員会だけではなくて、大きなところで一つ御意見を統一していただいて、すべきかなというふうに思います。ただ、私個人的な意見で言いますと、発表側から言いますとね、予算、決算でないとおもしろさがない、ところが、皆さん、市民の側からいくと、毎回やれとかね、ここにもありますけれども、発表側から言いますとネタがないような気がしてしかたない。ところが、それと市民の皆さんとの感覚というのはズレがあるのかなという気もしていますが、皆さんで御意見伺って、ご検討願いたいということでございます。

意（11） 今回、やれたことも確かにいいと思うんですけども、まだまだ、市民の参加がちょっと少ないかなというふうに思って、もう少しふやすような努力をしなければいけないかなというふうに思います。自分自身も。

意（15） 先ほども話がありましたように、いずれにしても議会にとっても、また、市民にとっても、まず一つの扉が開いたと、これは非常に僕も歓迎したと思います。それからもう一つ、これから開催するにあたっては、もう少し市

民がどこに関心を持っているかということ、やはり議会のほうでも把握して、そういったことを一つ明らかにしておかないと、ただ、こちらのほうの発表だけだと、さきに誰かありましたように、マンネリではないですが、また、来ようかなという気がするかなという、そういったことを思っておりますので。

議長 議会報告と公聴の部分というのは、やはり市民の方々に対して、はっきりこちらが分けるべきかなということを非常に感じました。報告会というものをやるに当たって、人を集めるなら、公聴会をくっつければいいんですけども、そのときには、公聴のテーマをきっちりもっと市民に伝えるというところ、それから、もっと言うのであれば、報告会と公聴会を分けるのであれば、公聴に関しては、例えば、子育てであれば、その世代の方々に特に来ていただくという努力をする。それから、まちづくり協議会だとか、そういうまちづくりのことであれば、現状のまちづくり協議会の中で活躍されている方々を対象に声がけするとかというような形をとっていくと、ある程度集約された御意見がいただけるから、逆に我々もそれを政策に生かせるようなものにしやすいのではないかなという気はします。報告会は、先ほど磯貝委員が言われたように、やはり、自己満足とは言いませぬけれども、テーマによっては、本当に、ただ言うだけ、相手も聞くだけというところで、あまり市民の方々に興味をそそらないような部分というのはやはり多いのかなという気がしますので、どちらかというと、例えば、予算と決算にしても、事業的な部分での説明をする。金額ベースの話ではなくて、こういう思いで、こういう事業をやっていく中で、こういう予算が上程されました。それに対して議会の中ではこういう議論がありましたというような形の言い方をしていかないと、やはり興味をそそらないのかなという気がします。そこのところは、こちら側のテクニックの問題として、あまりに議会用語だとか、行政用語だとかというのを使うことが逆にあだになっているという気がします。

副議長 最初、第1回目の議会報告会にしては、よかったのではないかと思いますけども、あとは、高浜の場合、他に場所がないということもありますけど、会場の入れ方というか、来てみえる人のプロジェクターを見るにしてもですね、各議員が前に並んでにしても、今までの半田なり、知立なりに比べるとちょっ

と聞くほうも、報告するほうも今後考える余地があると思います。人数的に、今、先ほど話がありましたように、105人という人数、皆さんが最初思っていたよりは少ないかとは思ったんですけど、それをいかに案内を出すかということで、アンケートの中にもありましたけれども、個々の議員が各公共施設に持っていったとしても、皆さんがなかなかそれを手にとってもらえてなかったというのも聞いていますので、そういう部分ももう少し考えたらどうかと思います。委員長 御意見ありがとうございます。反省の進め方でそれぞれ皆さん思いがあるのですが、特に直していかないといけないような点というのは、何かお感じになったようなところはあります。

意（10） これも少し無理があるのかなと思いますけれども、発表者がどうしても偏ってしまう。そこを来て見えた方がなぜあれは答えないのかとか、少しこれも今から検討していかなければいけないだろうと思いますけれども、偏りの答弁で、答弁する人、全然しなかった人ということでその評価を受けてしまうことが非常に不安であるとちょっとそういうふうに感じましたけども。

意（15） 運営面の件で、例えば、各委員会では、一つの議案に対して誰々が発表者、これ決まっています、これは。特に私たちの場合は、決めてありました。ところが、実際問題、受付をやるだとか、下のほうで案内するとか、そういったことで、ちょっとね、発表するのと、それから、今、実際の現場でいろんな進行をやる人とタイミングがね、ちょっとどうかと思ってね、そこら辺が。その辺のことで、今、全員がね、本当にもし何もなければ最初から最後まで全員が、16人が並んでいればね、まだ違ったと思うんですけども、やはり、受付のほうは時間がきたら、全然空けてしまっているのかというこれ問題もありますので、ちょっとそこら辺の運営面の上で、今後直していったほうがいいかなということは感じましたけども。

委員長 議会報告会ですから、全員がやっているという形をつくらないと、個人のあれではないので、小嶋さんのおっしゃるとおり、そういう方向にもっていかないはずかだと思います。また、少し話が飛んでいって申し訳ないんですけども、次回の報告会。先ほど磯貝委員のほうから、決算、予算という話もありましたけれども、当初はこれ多分、議会ごとに報告していくというスタイ

ルかなというふうに思ったんですけれども、差し当たって6月をどういうふうにするかということ、今回、聞いてみたいのなんですけれど、アンケートの集約を見てみると、年に2回ぐらいがいいのではないかという意見が一番多かったです。お話の中で、やはり決算、予算という話もありますし、事業が出てくるそういうタイミングのほうがかちらも説明する材料が揃うし、市民の方、集めるにしても、そのテーマ、例えば、先ほど、議長もおっしゃっていましたが、その予算、決算の中の何かのテーマに絞って今回このことを報告することを議会報告会の案内の中に入れておいたら興味のある人が来やすい、単なる議会報告会ではなくて、議会報告会の中でこういう内容のことを報告させていただくということがあったほうが、集めやすいというか、その携わっている人が来やすいものですから、基本的にそういう進め方にさせていただいたほうがいいのかというふうに個人的に感じたんですけども、皆さんの御意見はどうですかね。

意 見 な し

委員長 6月については、今回、補正で数件と、今日も議案が出ていましたけれども、小規模特養の用地の買収、その断片的なお話をさせてもらっても、多分、聞いているほうもさっぱりわからない、そういう内容になると思うので、基本的には9月のタイミングのほうがいいのかなというふうに感じたんですけども、その辺はどうですか。

意（15） 今、委員長が話されているとおり、僕もやはり、年4回というのはちょっと厳しいのではないかと思います、開催は。やはり、今、ありますように予算、決算があるときの報告でいいのではないかと、僕は思います、個人的には。

意（11） 今回は少ないという、委員長の意見でしたけども、というか、議会が、今、何をやっているのかとか、その過去の決議したものがあろうんですね。そういうのを、これこれこういうことで、決議しましたよという内容のものも入れたらどうかなというふうに、6月議会、今回少ない議案の中

ですけれども、やったほうがいいのではないかなというふうに思います。

委員長　そういう御意見もございましたけども、どうですか。

意（２）　今、鷺見さんが言われるというのもわかるんですけれども、ただ、議会がどういった形のことをやっているかということは、いわゆる、議会のホームページだとか、そういったものでもあるわけですので、例えば、単純に言えば、そういうホームページの中でそういうあれをPRする。ただ、パソコンが扱えなければ、そういったことができないのでむずかしいかもしれませんが、ただ、今、僕も、先方、ちょっと話が出ていた、小嶋さんが言われたみたいに、いわゆる予算と決算、３月議会と９月議会この２回で、あとのときは、議長もちょっと言っていましたけれど、公聴なら公聴の部分を考えてはどうかというようなこともありましたけれども、そういう形で分けるというのも一つの方法だと思いますし、僕は、毎議会、報告会をやるよりも、むしろ３月議会と９月議会でメリハリをつけたほうがいいのかなというふうに思います。

意（１０）　今、鷺見さんの御意見ですけれども、議会報告会の中でそれぞれの意見を戦いあわせるという場面ではありませんので、そういうことは、できないということになれば、各委員長からこういう御意見がありました、こういう賛成の御意見がありました、反対の御意見がありました、結果はこうなりましたという報告しかできませんので、そういうことはできないと思いますし、付け加えるなら、私も予算、決算の２回の開催でいいのではないかなというふうに思っています。

意（１１）　その戦わせるということではなくて、過去に決議をしたものがあると思うんですね。議会で、例えば、非核平和都市宣言に最善の協力をするというような決議があると思うんですよ。そういうのを過去の議会で決議したものを、市民の中に知らせるのもいいのではないかなと思うんですけども。

意（１０）　もう、それは「ぴいぷる」だとかですね、そういうもので結果は十分お伝えできると思いますので、その場面で市民の皆さん方に御意見を伺ったりですね、お互いの議員同士が意見を交わすということは、そこでやることではないと、私は思っています。

意（１５）　それとですね、開催する側と、参加する側と考えますと、年４回、

これすぐに来ます。はっきり言ってこれは。そうなると、結構、来る方も何かマンネリ化になってしまうのではないかと思います。参加される方も。僕、今、言ったように、やはり、予算、決算で新しいことを出されますので、そういったときのほうが、いいのではないかと思いますけどね。

委員長 それとですね、アンケートの中で、夜間議会かとか、休日議会の話も出ています。それで、本来は議会でどういう議論されているかというのを、傍聴に来ていただいて見ていただくというのが基本のストーリーというふうに考えていますので、そういう方向も検討されてはどうかというふうには思っているんですけども、今日はそのお話は出しませんけども、見ていると仕事があって平日は来られないという方、特に見ていると感ずるのは、参加されている方が60歳以上が半分以上です。そういう現状を考えると、やはりテーマとその時間帯、この二つが議会を見ていただく、試しとしてやる意味があるのではないかなと感じましたので、その辺はアンケートの中身で感じたことを申し添えておきます。鷺見さん、よろしいですか。

意(11) はい、わかりました。

委員長 6月については、開催しなくて、9月という形でやらさせていただく方向でよろしいでしょうか。

異 議 な し

委員長 9月に向けてはですね、先ほど議長のほうからもお話ありましたし、これからの詰めになるんですけども、なるべく多くの方が発表できるようにということで、テーマをいくつか上げて、決算の中で。そういう形での進め方でやっていきたいというふうに考えていますので、それぞれ、ある特定の事業について中身調べていただいて、それを報告する。そういう形でどうかというふうに思うんですけども、その検討は、まだ決算の書類も出てきておりませんし、予算を見ればわかるといえばわかるんですけども、そういう形で、今後、検討の課題に挙げさせていただくような形で、進めさせていただいてよろしいでしょうか。

異 議 な し

意（15） 9月を受けての議会報告会。そうすると、実際、開始は11月頃になりますけれど、そこら辺をちょっと。

委員長 今回はですね、逆に、一番最初、第1回目は少し時間をおかさせていただいたんですけども、テーマを決めて、担当決めてということになると、なるべく早いほうがいいのかというふうに思っています。できれば、10月、各会派さんの視察も入ってまいりますけれども、その辺は日程調整をして、なるべく早い時期にやらせていただきたいなというふうに思っているんですけども。

意（15） 10月になってくると、各地区でお祭りが入ってくる、ここら辺が。これちょっと日程的に厳しいかと思って。これは、検討ということ。

委員長 よろしいですか。議長、よろしいですか。

議長 はい。

4 その他

委員長 本日からですね、議会改革特別委員会、実は前回までは14回開催いただいたんですけども、第2期の第1回という呼称にするのか、継続して15回という呼び方をしたほうがいいのか、その辺を、簡単な話ですけども、継続しているということを強調するのか、新たに踏み出したということを協調するのか、その辺はお決めいただきたいなというふうには思っているんですけども、何か御意見いただけないでしょうか。

意（10） 本当に両方の気持ちは思っていますけども、継続でという考えをもっています。

委員長 他に、御意見ございませんか。

意（10） 第2回ですか。

委員長 いや、第15回。議会改革特別委員会第15回、今回は。

意（10） それか、24年第1回というか、そういう。

委員長 事務局、いいですか。

事務局長 別に、これということはございませんので、ただ、委員長さんがご発言された趣旨というのは、私ども考えないことではないので、今回の5月の臨時会によって、特別委員会のメンバーの皆様方がおかわりになられたということと、今まで14回の議論をしてきて、議会報告会というのが成功裏に開催をされたという、その区切りと言いますか、そういう意味で、メンバーもかわられたものですから、御提案をされてみえるというふうに承知をしているだけでして、これが15回、16回、17回だとか、議会改革特別委員会の第2期としてのスタートの第1回の会議ですよということであるならば、それはそれで、よろしいかと思えますし、そのような会議録の調整をさせていただくと、名称をそういうふうにさせていただくと、それをホームページに掲載をさせていただくと、こういうことになろうかと思えます。

意（15） 特にこだわりはありませんので、委員長にお任せいたします。

委員長 一任いただければ。

意（10） 一任でいいです。

委員長 一任でいいですか。

意（10） 正副、一任。

委員長 はい。それでは、継続ということで、第15回にいたします。あと、この場で御相談させていただきたいのが、先ほど、公聴会というお話、議長からもいただきました。要は、議長もおっしゃってみえるのは、高浜の抱える課題をどう取り組んでいるんだということを市民に対して意見発信していく必要もあるでしょうという意味合いだと理解させていただいています。議長、よろしいですね、それで。

議長 はい。

委員長 この場でお話するのは、あれですから、できれば各派会議、多分、各派の方が全員入って、持ち帰って、こういうテーマとか、そういう進め方をする公聴会をしていく、当局側は市民会議という形でやられていますけれども、私どもも、議会としてこういう課題を持って、課題に対してどういう議論をし

ているんだということを、そういうことをやはり、お見せしていくほうが、議会活動やっているというイメージも沸くと思いますので、そういうことも検討いただきたいなというふうに思っています。この場でテーマを決めるとか、その辺も大変ですし、できれば各派会議、各派持ち帰っていただいて、各派の中で、高浜として、例えば、10年、20年先、2年、3年先でもいいんですけども、こういう課題が出てくるから、こういうことどう議会の中でもんで、当局から資料請求したり、当局の考え方を正したり、自分たちの合意形成、こういうことを図る場をつくっていききたいなというふうに思っているんですけども、そういうことに対して、御意見はございませんか。

意（13） メリハリがついてですね、いいと思います。先ほど予算、決算の部分ということ言いましたし、その間に踏み込んでいければ、多分、市民の皆さんも御理解をいただけるかなというふうに思います。特にメリハリがつくと思います、我々にとっても。

意（15） そのような方向が、より大事な議会改革だと思いますので、がんばっていきます。

委員長 よろしいですか、では、局長、申し訳ないですけども、各派の代表の方がこちらに見えますけども、一応、各派の中でそういうことを話し合っていたらいい。

事務局長 テーマ。

委員長 テーマというか、公聴会に向けて、そういうテーマがあるかどうかと思います、まずは。皆さんが合意して乗っていただけるようなものがあればそれに対して、この場をとおして議論するのか、テーマを決めていただければ、この場で議論するような形でよろしいかと思うんですけども、そういうような進め方をさせていただきたいなと、ですから、逆に、先ほど議長が言われたように、公聴会でこういうテーマをやって、報告会という形の進め方、それから報告会とは別にセットするのか、同時に入れるのか、ちょっと、この辺の進め方はまだこれからだとは思いますが、そういう形のところで、やはり活性化していきたいなというふうには思っておりますので、また、御協力をいただきたいなというふうに考えております。

議長 今、各派会議でというお話もあつたんですけども、方法論として、我々が議会として議論をある程度、議論というよりも、例えば、勉強のレベルでもいいですわ、高浜の現状というものを知るとか、今後、わかる範囲のビジョンを勉強させてもらうというような場面をとおした後に、それをテーマに公聴会をやって、市民の方々に対して、御意見をちょうだいすると、またそれを持ち帰ってきて議論をするというような積み上げというようなイメージで、今、聞いたんですけど、そのような感じでよろしいですよ。

委員長 基本的には、そういうイメージを想定しています。ただですね、勉強して、いきなり市民の方に、その勉強した内容だけという形だと、ある程度、この方向というか、考え方のところを出していかないと、公聴会に来られた方も、意見の出しようもなくなると思いますんで、逆に、ある程度は筋書きをつくって、説明させていただいて、その上で意見いただくという形でないと、なかなか意見のほうも出しづらいでしょうし、意見自体がバラバラの方向になってしまうと、それをまた集約するのも大変ですから、ある程度、ここで議論したものを公聴会にかけたいなというふうに思っているんですけども、それでよろしいですかね、議長。

議長 はい。

委員長 では、そういう形で、テーマという形で、何か各派会議のほうで話し合っていて、一度、公聴会形式も取り入れて議会報告会と、この方向でお話をさせていただくような形で進めさせていただきたいと思います。今、そういう形でお話させていただいたんですけども、次回の議会改革特別委員会の開催日の調整もさせていただきたいんですけども、先ほど、議会報告会の資料自体を20日という形でお願いさせていただきましたが、最終日の前に一度全体を編集したものをお見せしたいなというふうに思っているんですけど、今、担当を分けさせていただいて、「ぴいふる」の資料自体はお願いさせていただいたんですけど、全体のイメージをつくらないと、お話もできませんので、25日、26日のどちらかで御都合の悪い日があれば、いただきたいんですけども。

委員間で、日程調整

委員長 25日、13時30分から。その時は、「びいふる」に載せる資料の大体のアウトラインのイメージをお持ちするような形でやらさせていただきます。

意(10) 16回。

委員長 16回。局長、各派会議は、大分先になります。

事務局長 それでは、今、各派会議のお話が出ましたので、事務局として、まず、御確認をさせていただきます。今、議会改革特別委員会の委員の皆様方で御決定された内容について、まず、確認させていただきます。高浜市が抱えている課題をテーマに公聴会を開催するというのを踏まえて、無論、ここは、議会報告会と公聴会との関係のメリハリをつけた上での前提ということによろしいかと思いますが、その上で、各派でその公聴会に係るテーマ、そして、公聴会もともとの開催の諾否について、各派で御検討願うという趣旨で御理解をさせていただきましたが、まず、委員長、それでよろしいかどうかという確認を一つさせていただきます。それで、もし、そういった内容で、議長に各派会議の招集の御依頼がございましたので、直近でまいりますと、もう既に、皆様方にも御案内しておりますが、6月15日、金曜日、これは本会議第4日、総括質疑、委員会付託がございましたけれども、その終了後に、実は、自由討議の案件の選定についての各派会議が、もう既に予定をされております。この自由討議の案件の選定が各派会議でされますと、必然的に議会運営委員会をお開きいただき、最終決定を願うということになりますので、その前提で、各派会議が招集をすることに内定いたしておりますので、この各派会議のテーマ、案件として自由討議の案件のほかに、今の公聴会といいますか、そちらのほうの開催の諾否、あるいはテーマについてを案件の中に付け加えさせていただくとするならば、時間的には間に合うと、したがって、何を申し上げたいかという、もう既に、本日は委員のほかに傍聴の皆様、ひっくるめて全員お見えになりますので、また、各派の代表者の方もお見えになりますので、このとき、15日までに会派としての御意見をまとめておいていただければ、次のステップに進められるのかなと、こんなふうに思っているところでございます、一度、その辺、委員長お取り決めをいただければと思います。

委員長 今、局長のほうから御説明いただきましたけども、各派の方で、テーマまではこの場では難しいかとは思いますが、公聴会形式のものを取り入れてやっていくかどうかということ、15日の日に各派の中で取り決めて持ってきていただくということで、各派の代表の方、よろしいですかね。

「はい」と発言するものあり

委員長 では、各派の代表の方には、御迷惑をおかけしましたけれども、その場でそういう進め方ができるかどうか、やらせていただいてよろしいかどうかということをお決めいただきたいと思えます。テーマについては、少しまだ時間かかると思えますので、各派の中でもんでいただいて、これは、また、進め方等についてもテーマによって、大きい小さいが出てくると思えますので、別途持ち寄って、また、日程等の調整はさせていただければなというふうには考えております。

事務局長 では、そのように15日の案件の中に、公聴会についてというお題目として付け加えさせていただきます。大変恐縮でございますが、あえてまた議長名による各派会議の通知で、この案件を追加しますよという通知は省かせていただきたいと思えますので、当日の配布資料の中には、その項目を入れさせていただきますということで、御理解と御協力をお願い申し上げます。

委員長 では、よろしくお願ひいたします。ほかに、次回、6月25日、午後、開催させていただくんですけども、そのときのテーマは、基本的に、「ぴいぷる」に載せる原稿、これの確認をいただくことと、各派会議の結果を受けて、今後の進め方についてのお話をさせていただきたいというふうに考えています。それと最後になりますけれども、議会報告会で使わせていただいた資料、控え室の方に保持したままになっています。お使いになられる方は、使っていていいんですけども、もう、廃棄させていただこうかなと思っておりますけども、それはよろしいですか。

異議なし

委員長 よろしいですか、もしあれだったら、時間をおいて必要な分をとっていただければ、残りの部分は来週に入ってからでも廃棄していただくようお願いしますが、あの中で次回も使えるようなものは、別途、取り出しておきますので、「ぴいふる」の資料ですとか、当日の式次第、要は資料を刷って、300部もってやつ、来場者が100名ちょっとということで、200部弱残っていると思います。その分の資料の処分の仕方のお話だけです。そのほか、皆さんの方から、何かございましたら。

副議長 先ほど、「ぴいふる」の話が出ていて、午前中、市議会だよりの編集方針は、委員の方にはお渡ししましたので、ほかの方に配布させていただきたいと思います。それと、今、委員長が、議会報告会ですね、当日、配られた議会報告会での委員長報告とか、資料なんですけど、私が担当としてやらせていただいた、記録ですね、記録は前委員長、副委員長それから現委員長、副委員長にお渡ししていますけど、そのほかの議員さんにはどのようなあれで、報告というか、閲覧というか、される予定でしょうか。

委員長 申し訳ないですけども、全員にお配りください。隠すような必要があるようなものではないと思っていますので、コピーしていただいて、全員に配布していただければ、それでかまわないと思います。

副議長 では、事務局、これを全議員にということで。

事務局長 会議録ですね。

委員長 会議録です。

副議長 また、皆さんのポストへ入れさせていただきます。

意（1） きょうは、議会報告会、あるいは、先ほど出た公聴会のことに関して次回意見を持ってきてくださいというふうなことをおっしゃられましたけども、そのほか、この委員会でこれからこういうことに取り組んでいったらどうかというふうなことを発表する、お願いする機会は、ありますでしょうか。

委員長 ちょっと、ごめんなさい、意味合いがよく理解できなかった。

意見（1） きょうは、報告会と公聴会のこと終始しましたがけれども、そのほか、別件で、こういうことをやっていったらどうかとかという意見を言える

場所は、次回等、ありますか。

委員長 その他のところで言うのであれば、そこで議論に持ち上げていいと思っているんですけども、委員の方ですから。

意（１） 例えば、ここで、こんなことを考えていったらどうですかということも、よろしいということですか。

委員長 はい。

意（１） 発表させていただきます。最終的には全庁的に紙のデータがなくなれば、コピー代、紙代が浮くのではないかと思います。それを何年後になるかわかりませんが、やるために、まずは議会のほうで、できるだけ紙を使わない議会をできないかなということを提案させていただきたいと思います。

委員長 議会改革という意味合いで、ですよ。

意（１） ですから、議会で、まず紙を使わないと。記録に関しては紙は当然法律上必要になってくると思うんですけども、できるだけ紙を減らす、それで、予算を減らす、それは、ひいては全庁的にうまくいけば、紙代、コピー代、コピー機代等の費用が節約できることですので、まず、議会から進んでそれができないかなということをございます。

委員長 という、テーマがございましたけれども、今、ここですぐに議論というのは、皆さんいろいろ意見もおありでしょうけれども、持ち帰っていただいて、次回のところで若干また考えた内容を、お話いただければなと思いますので、問題提起いただいたということで、以降のところで御検討させていただくという形で、よろしいですか。

議長 確認と言うか、お願いと言うか、あれなんですけれども、議会改革特別委員会は、議会報告会あるいは議会公聴会をやるための委員会ではないものですから、今、磯田委員が言われたみたいにですね、この委員会でもって取り上げて、議会の改革につなげることは、やはり、多分、その報告会とか何かが間じかになると、忙しくなるとは思うんですけども、少しでも議論する場を設けていただければ、ありがたいと思いますので、各派、また、きょう持ち帰っていただいて、会派の中でこういうことをやったらどうだろうかということをお話し合ってください、この場に持ち寄っていただければということをおいま

すので、よろしくお願いたしたま。

意（11） 先ほど、磯田さんがそういう話をされたので、こちらも一つ、言いたいと思いますけれども、先ほど少し触れましたけれども、非核平和都市宣言のために協力するという決議がされているんですね、この平和に対して何か、議会でも取り組んだらどうかなというふうに思うんですけども、いかがでしょうか。

意（10） 私は個人的には、サインもさせていただいて、賛成もさせていただいておりますけれども、あくまで、個人でございますので、それをこの議会に持ち上げるというのは、いささか問題があるのではないかと思います。

委員長 議会の改革とどう関連するのか、その辺がよく理解できないんですけど。議会の改革ではないですよ。

意（11） 議会の改革と言うよりも、その姿勢というかね、議会の姿勢というか、いうのも考えられないかなと思うんですけども。

意（1） それは、議案の中でもめばいいことであって、システムとか、その委員会でやることではないのではないのかなと思いますが。

委員長 よろしいですか、鷺見委員。

意（11） はい、わかりました。

委員長 ほかに。ほかに御意見もないようですので、本日の議会改革特別委員会をこれで終了させていただきます。いろいろ、ありがとうございました。

閉会 午後2時47分

議会改革特別委員会 委員長

議会改革特別委員会 副委員長